

和知駅多目的トイレ新築工事

番号	図面名称	縮尺
1	特記仕様書 1	
2	特記仕様書 2	
3	特記仕様書 3	
4	特記仕様書 4	
5	特記仕様書 5	
6	特記仕様書 6	
7	配置図 附近見取図	1/300
8	仕上げ表	
9	既設平面詳細図 計画平面詳細図	1/50
10	既設立面図 計画立面図	1/50
11	建具表 展開図 雑詳細図	1/30 1/50
12	断面詳細図 構造図	1/50
13	機械設備特記仕様書 1	
14	機械設備特記仕様書 2	
15	電気配置図	1/300
16	電気設備図	1/50
17	機械設備図	1/50

章	目	特記事項	章	目	特記事項	章	目	特記事項	章	目	特記事項
4	地業工事	6 土間断熱材	6	コンクリート工事	⑥ 構造体強度補正值 (6.3.2)	7	鉄骨工事	1 鉄骨の製作工場	7	鉄骨工事	13 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3)
		7 地盤改良			7 暑中におけるコンクリートの扱い (6.12.2)			2 施工管理技術者 (7.1.3) (7.1.4)			14 柱底均しモルタル (7.2.9)
5	鉄筋工事	①鉄筋の種類 (5.2.1)	8	寒中コンクリート	8 寒中コンクリート	5	溶融亜鉛メッキ高力ボルト	5 溶融亜鉛メッキ高力ボルト	8	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	①補強コンクリートブロック造 (8.2.2) ~ (8.2.4)
		2 溶接金網 (5.2.2)			⑨ コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)			6 ターンバックル (7.2.6)			2 コンクリートブロック帳壁及び珪 (8.3.1)
6	コンクリート工事	③鉄筋の継手 (5.3.4)	10	軽量コンクリート (6.10.1)	10 軽量コンクリート	11	溶接部の試験 (7.6.3)	9 溶接作業者における技能資格者 (7.6.3)	12	耐火被覆 (7.9.2) ~ (7.9.7)	3 ALCパネル (8.4.2) ~ (8.4.5)
		④鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)			⑪ 型枠 (せき板) (6.8.2) (6.8.3) (6.2.4)			10 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)			4 押出成形セメント板 (8.5.2)
6	コンクリート工事	5 圧接完了後の試験 (5.4.9)	13	耐震スリット	13 耐震スリット	7	耐火被覆 (7.9.2) ~ (7.9.7)	12 耐火被覆 (7.9.2) ~ (7.9.7)	7	耐火被覆 (7.9.2) ~ (7.9.7)	4 押出成形セメント板 (8.5.2)
		① コンクリートの強度 (6.2.2)			⑫ スリーブ (6.8.3)			11 溶接部の試験 (7.6.11)			5 混和材料 (6.3.1)

正田建築事務所

校閲

検印

担当

工事名称

和知駅多目的トイレ新築工事

図面名称

特記仕様書 (2)

縮尺 1 / 1

図面番号 2

年月日 1 5 . 0 5 . 1 8

図面総数 17

9

防水工事

1

アスファルト防水

(9.2.2)
(9.2.3)

2

改質アスファルトシート防水

(9.3.2)

3

合成高分子系
ルフィングシート防水

(9.4.2)
(9.4.4)

4

塗膜防水

(9.5.3)

5

漏水試験

6

保証書

7

シーリング

(9.7.2)

8

目地寸法

(9.7.3)

9

シーリングの試験

(9.7.5)

10

止水板

10

石工事

11

タイル工事

12

木工事

5

集成材

(12.2.1)

6

床張り用合板

(12.2.1)

7

接着剤

(12.2.2)

8

防腐、防蟻及び
防虫処理

(12.3.1)
～(12.3.2)

9

折板葺

(13.3.2)

10

粘土瓦葺

(13.4.2)
(13.4.3)

10

木工事

11

屋根及び
びとい工事

12

屋根及び
びとい工事

13

屋根及び
びとい工事

14

金属工
事

5

とい（雨水）
(13.5.2)
(13.5.3)

6

保証書

1

ステンレスの
表面仕上げ

(14.2.1)

2

アルミニウム及び
7%以上の合金
の表面処理

(14.2.2)

3

鉄の亜鉛めっき

(14.2.3)

4

軽量鉄骨天井
下地

(14.4.1)
(14.4.4)

5

軽量鉄骨壁下地

(14.5.3)

6

金属成形板張り

(14.6.3)

7

アルミニウム製
笠木

(14.7.2)
(14.7.3)

8

手すり

(14.8.2)

9

タラップ及び丸環

(14.8.3)

10

天井点検口

11

床点検口

12

屋上点検口

(表9.2.3)～(表9.2.8)

種別	別	防水層	施工箇所
○保護防水	○A-1	○A-2	表9.2.3
	○A1-1	○A1-2	表9.2.4
	○B-1	○B-2	表9.2.5
	○B1-1	○B1-2	表9.2.6
○露出防水	※D-1	○D-2	表9.2.7
○屋内防水	※E-1	○E-2	表9.2.8

アスファルトの種類 ※3種 ○
アスファルトルーフィング ※1500 ○

断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 ○
材質 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bのスキン層付
(ただし、特定フロンを含まないものとする。)

絶縁用シート ※ポリエチレンフィルム厚0.15(保護防水工法)
※フラットヤーンクロス(70g/m程度)(保護防水断熱工法)
端部押え金物 ※アルミニウム製L-30×15×2.0 ○

立上がり押え ※レンガ押え(JIS) ○タイル押え ○乾式保護材
脱気装置 ○設ける 材種()
設置数量 (1箇所/㎡)

伸縮調整目地 ※成形伸縮目地材 ○
成形緩衝材 ※ルーフィング類製造所の指定品 ○
屋根保護防水工法の保護層 表面仕上げ ※金こて仕上げ

(表9.3.1)

種別	施工箇所	種類及び厚さ	仕上塗料
○AS-1		※9.3.2(a)による	○カラー
○AS-2		○	○シルバー

脱気装置(絶縁工法の場合)※設ける 材種() 設置数量(1箇所/㎡)
種別

(表9.4.1)

種別	厚さ(mm)	施工箇所	仕上塗料
○S-F1	※1.2	○	○カラー
○S-F2	※2.0	○	○シルバー
○S-M1	※1.5	○	○
○S-M2	※1.5	○	(露出の場合)
○S-M3	※1.2	○	

絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート ○
脱気装置 ○設ける 材種() 設置数量(1箇所/㎡)
※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上塗料
○X-1		○カラー
○X-2		○シルバー
○Y-1	地下外壁防水	○カラー
○Y-2	屋内防水	○シルバー

脱気装置(X-1)○設ける 材種() 設置数量(1箇所/㎡)
保護層(Y-2)○設ける

※水張り試験を行う (○屋内 ○屋外)

※受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。
(保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)

シーリング材の種類 ※表9.7.1による

コンクリートの打継ぎ目地及びびび割れ誘発目地
※幅20mm以上、深さ10mm以上 ○
ガラス回りの目地
※幅5mm以上、深さ5mm以上 ○
その他の目地
※幅10mm以上、深さ10mm以上 ○

※簡易接着性試験 (部位)
○引張接着性試験 (部位)

材質 _____ 形状 ○差込式 ○留置式 ○壁張り式
適用範囲 _____

1

天然石張り

(10.2.1)

2

テラゾ張り

(10.2.1)

3

壁の石張り工法

(10.3.3)
(10.4.3)
(10.5.3)

4

床及び階段の
石張り

(10.6.2)
(10.6.3)

1

伸縮調整目地等

(11.1.3)

2

施工後の確認及
試験

(11.1.5)

3

陶磁器質タイル
張り

(11.2.1)

4

張付け用材料

(11.2.3)

1

表面仕上げ

(12.1.4)

2

木材の含水率

(12.2.1)

3

木材の品質

(12.2.1)

4

樹種

(12.2.1)

石の品質 床用石材 ○1等品 ※2等品
壁及びその他の石材 ※1等品 ○2等品

石の種類・表面仕上げ
施工箇所 種類 (産地、名称) 表面仕上げの種類

施工箇所	種類	表面仕上げの種類

外壁石張り
工法 ○外壁湿式工法 (※流し筋工法 ○)
○乾式工法 ※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
裏面及び裏打ち処理 ※行わない ○行う (表面処理の場合小口共)
ドレインパイプ ※ステンレスSUS304 ○

内壁石張り
工法 ○内壁空積工法 (※あと施工アンカー補筋流し工法 ○あと施工アンカー工法)
○乾式工法
裏打ち処理 ※行わない ○行う

石の厚さ(mm)
床石張りの表面処理 ※行わない ○行う
屋内のワックス掛け ○行わない ※行う

外壁 ※(表11.1.1)による ○図示による
屋内壁面 ※図示による ○

浮きの確認 ※全面打診による確認を行う
接着力の試験 ※接着力試験機による接着力試験を行う ○行わない

タイルの種類 (表11.3.2)
施工箇所及び
タイルの種別 形状寸法(mm) 生地 釉薬 役物 色 耐凍害性 工法 その他

内壁	100角	●磁器 ●陶器 ○せつ器	○無釉 ●施釉 ●無し	○有り ○無し ○特注	※標準 ○有 ○特注 ●無し	○有り ○無し	
床	50角	○磁器 ●陶器 ○せつ器	○無釉 ●施釉 ●無し	○有り ○無し ○特注	※標準 ○有 ○特注 ●無し	○有り ○無し	

タイルの見本焼き ※行わない ○行う
窓回りの固定 ※行わない ○行う

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○

表面仕上げの程度 ○A種 ※B種 ○C種 ○D種 (表12.1.1)

構造材 ※A種(20%以下) ○B種(25%以下) (表12.2.1)
下地材 ※A種(15%以下) ○B種(20%以下)
造作材 ※A種(15%以下) ○B種(18%以下)

品質の基準

構造材		下地材		造作材
柱(見掛け部)	梁(見掛け部)	(見掛け部)		(表12.2.2)
※上小節	※小節	※図示	※図示	※A種
○	○	○	○	○B種

使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。

○工事完成までに、京都府内産木材証明書及びケドマール-J002計算書を提出すること。
証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。
京都府地球温暖化防止活動推進センター
TEL：075-211-8895 URL：http://www.kcfca.or.jp/wood/index.php
注)証明書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業者でなければ発行されない。
詳細は上記URLを参照すること。
○工事完成までに、京都府内産木材の産地証明書を提出すること。

代用樹種 ※可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可)
○不可

5

集成材

(12.2.1)

6

床張り用合板

(12.2.1)

7

接着剤

(12.2.2)

8

防腐、防蟻及び
防虫処理

(12.3.1)
～(12.3.2)

9

折板葺

(13.3.2)

10

粘土瓦葺

(13.4.2)
(13.4.3)

○構造用集成材
使用箇所 強度等級 材面の品質 接着性能 樹種 寸法

		○1種 ※2種 ○3種			
--	--	-------------	--	--	--

○構造用単板積層材
使用箇所 接着性能 曲げ性能 水平せん断性能 樹種名 厚さ

--	--	--	--	--	--

○造作用集成材
使用箇所 見付材面の品質 樹種名 寸法

	※1等 ○2等		
--	---------	--	--

○化粧ばり造作用集成材
使用箇所 見付材面の品質 心材樹種名 化粧樹種名 化粧板厚 寸法

	※1等 ○2等				
--	---------	--	--	--	--

集成材のホルムアルデヒド、ホルン(以下ホルムアルデヒド等という)の放散量
JASで定める ※F☆☆☆☆ ○F☆☆☆ ○
※非ホルムアルデヒド系接着剤使用並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用(単板積層材に限る) ○

押入れ、物入れ等の床 普通合板(国内産樹種表面材)
接着の程度 ※1類 ○2類 板面の品質 ※針葉樹 ※C-D
○広葉樹 ○1等 ※2等

畳床下地材及びフローリング張り等の下地材
構造用合板(針葉樹) 接着の程度 ※1類2級 板面の品質 ※C-D
バネ付合板(針葉樹) 15mm 曲げ強さ 接着剤の区分
○13P9イ7 又は13M9イ7 ○

合板類のホルムアルデヒド等の放散量
JASで定める ※F☆☆☆☆ ○F☆☆☆ ○
※非ホルムアルデヒド系接着剤使用(普通合板及び構造用合板に限る) ○

接着剤のホルムアルデヒド等の放散量
JISで定める ※F☆☆☆☆ ○F☆☆☆ ○
接着剤に含まれる可塑剤
※ホルム酸ジ-n-ブチル、フル酸ジ-3-エチルブチル(以下フル酸-ブチル等という)
を含有しない、難揮発性のものとする。

※木材保存剤(防腐、防蟻処理)は、クロルピリフス等を含有しない非有機リン系とする。
※木材保存剤(防腐、防蟻処理)にクレオソートは使用しない。
※処理の方法は、工場における加圧とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を2回塗布する。
防蟻処理 ※行う(範囲：) ○行わない
防虫処理 ※行う(範囲：ラワン材等 ○「製材の日本農林規格」による保存処理K1)
○行わない

※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

(表13.2.1)

屋根葺形式	材 料 の 種 類 等	厚さ(mm)	下 葺 材 料
○瓦葺葺	※塗装溶融亜鉛メッキ鋼板	※0.4	※757g/m ² ルフィング940
○平葺	○塗装溶融亜鉛メッキ鋼板	○	

専門工事業者 ※製造所の指定業者とする ○
※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。

(表13.2.1)

形式による区分	※重ね形	○はげ綿の形	○嵌合形
山高 (mm)		耐力	
山ピッチ (mm)		板厚 (mm)	※0.6 ○0.8

材料による区分 ※塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 ○ (表13.2.1)
軒先面戸板 ※有り(軒先面戸・換気面戸) ○無し
けらば変形防止材 ○鉄鋼製(上塗り※折板色 ○) ○ステン以鋼製
断熱材張り ○行う 種類() 厚さ() 防火性能(30分)
※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。

種類、大きさ、産地等 ※J型 53A ○
役物瓦の種類
雪止め瓦の使用 ○有 ○無
※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。

1

性能

2

長尺金属板葺

(13.2.2)
(13.2.3)

3

折板葺

(13.3.2)

4

粘土瓦葺

(13.4.2)
(13.4.3)

7

アルミニウム製
笠木

(14.7.2)
(14.7.3)

8

手すり

(14.8.2)

9

タラップ及び丸環

(14.8.3)

10

天井点検口

11

床点検口

12

屋上点検口

といた材種 ○配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ○ (表13.5.1)
(屋内といにV P管は使用しない)
掃除口 ※設ける (開放性のある自転車置場のといを除く)
ルーフトレン ※鉄製 ○ステンレス製
鋼管製といの防露 ※行う (施工箇所 ※表13.5.5による○)
防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○

※受注者、屋根施工業者、屋根材料メーカーの連名による保証書を提出すること。
(保証年限：工事目的物引渡しより10年間以上とする。)

(表14.2.1)

種 別	種 類	施 工 箇 所	(手すり、タラップ、建具以外)
※H L程度		下記以外の見掛け全て	
○Z B程度			
○鏡面仕上げ			

(表14.2.1)

種 別	種 類	施 工 箇 所	(手すり、成形板、笠木、建具以外)

陽極酸化皮膜の着色方法
※二次電解着色 ○三次電解着色 ○

(表14.2.2)

表面処理方法	種 別	試 験	施 工 箇 所
○溶融亜鉛めっき	○A種 ○B種 ※C種	○行う	手すり 門扉
○電気亜鉛めっき	○D種 ○E種 ○F種	○行う	

(表14.4.1)

野縁等の種類	屋内	※19型	○25型
天井のふところ	※19型 <td>※25型</td> <td></td>	※25型	
天井のふところ(1.5m以上3m以下)	※補強有		
天井のふところ(3m超える)	※図示による補強		
屋外のはずれ留め補強	※有り	○無し	
耐震性を考慮した補強	○有り	○無し	
耐風圧性を考慮した補強	○有り	○無し	

スタッド、ランナー等の種類
※表14.5.1におけるｽﾀｯﾄﾞの高さによる区分に応じた種類 ○

(表14.5.1)

形 状	製 法	材 種	寸 法 (mm)	表 面 処 理
○スバンドレル形	○押出し ○ロール	※75mm以上 ○	板厚 板幅	○B-1種(無着色) ○B-2種(着色) ○C-1種(無着色) ○C-2種(着色) ○D種
○パネル形	※プレス			

伸縮調整継手 ※設けない ○設ける (施工箇所は図示)

(表14.2.1)(表14.7.1)

種 類	板厚(mm)	表 面 処 理	固定間隔	備 考
○250形	1.6	※A-1種(無着色)	※1.3m程度	※押出材材 ○曲げ材
○300形	1.8	○A-2種(着色)	○	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。
○350形	2.0	○B-1種(無着色)		
○		○B-2種(着色)		

※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。

材 料 及 び 表 面 処 理	施 工 箇 所
※ステンレス製SUS304 ※H L程度 ○鏡面程度	
○鋼製亜鉛めっき 外部 ※C種 内部 ※E種	
○アルミニウム製 ※B-1 ○	

材種 ※ステンレス製SUS304(表面処理2 D程度) ○

※アルミニウム製既製品(450×450)()箇所
○アルミニウム製既製品(600×600)()箇所

○アルミニウム製既製品(600×600)()箇所
○ステンレス製既製品(600×600)()箇所
○鉄製マンホール蓋 ()型 ()φ ()箇所

寸法(mm) ○φ600 ○500角
断熱材 ○有り ○無し

正田建築事務所

校閲

校印

担当

工事名称

和知駅多目的トイレ新築工事

図面名称

特記仕様書(3)

縮尺

1/1

図面番号

3

年月日

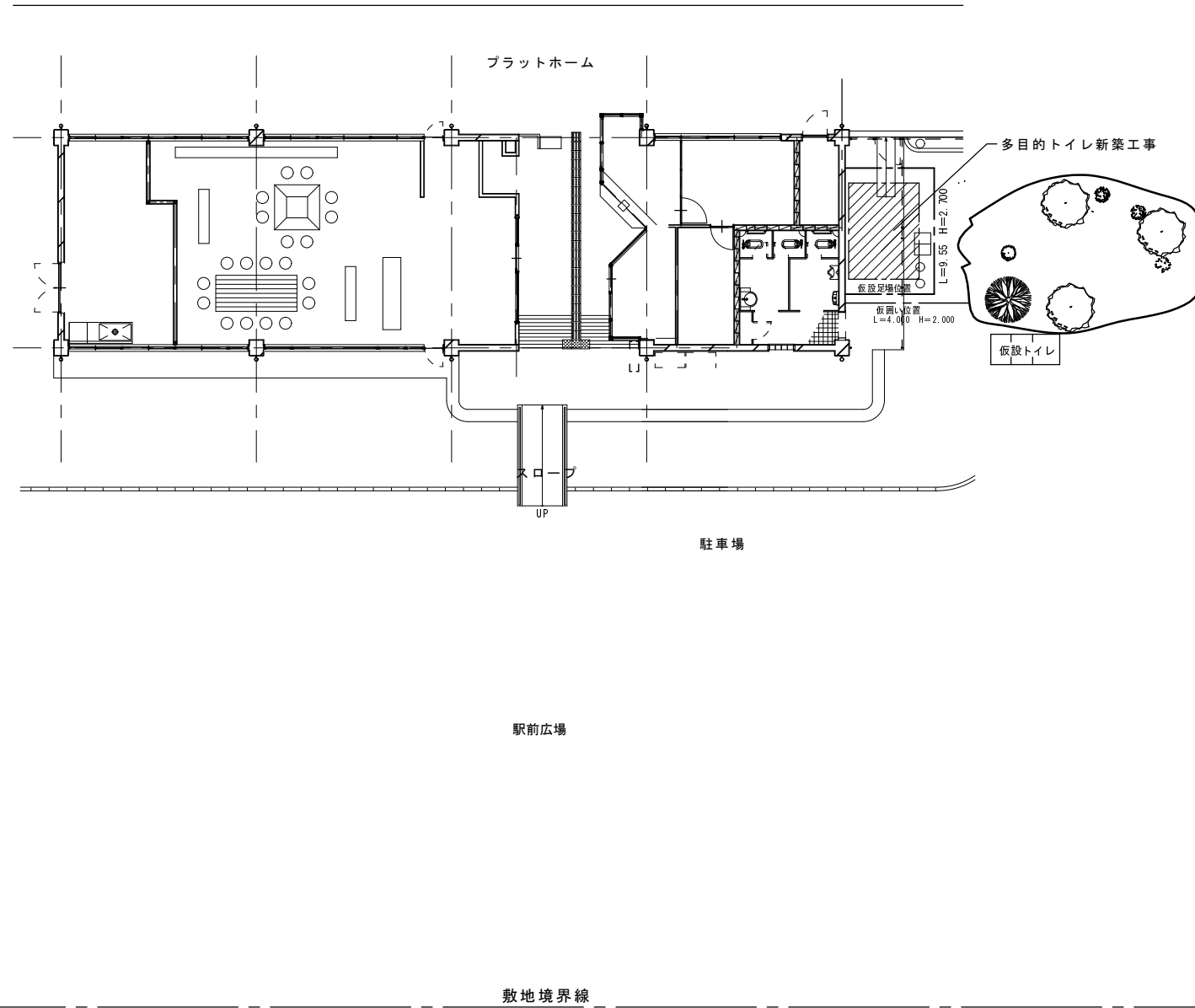
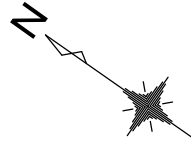
15.05.18

図面総数

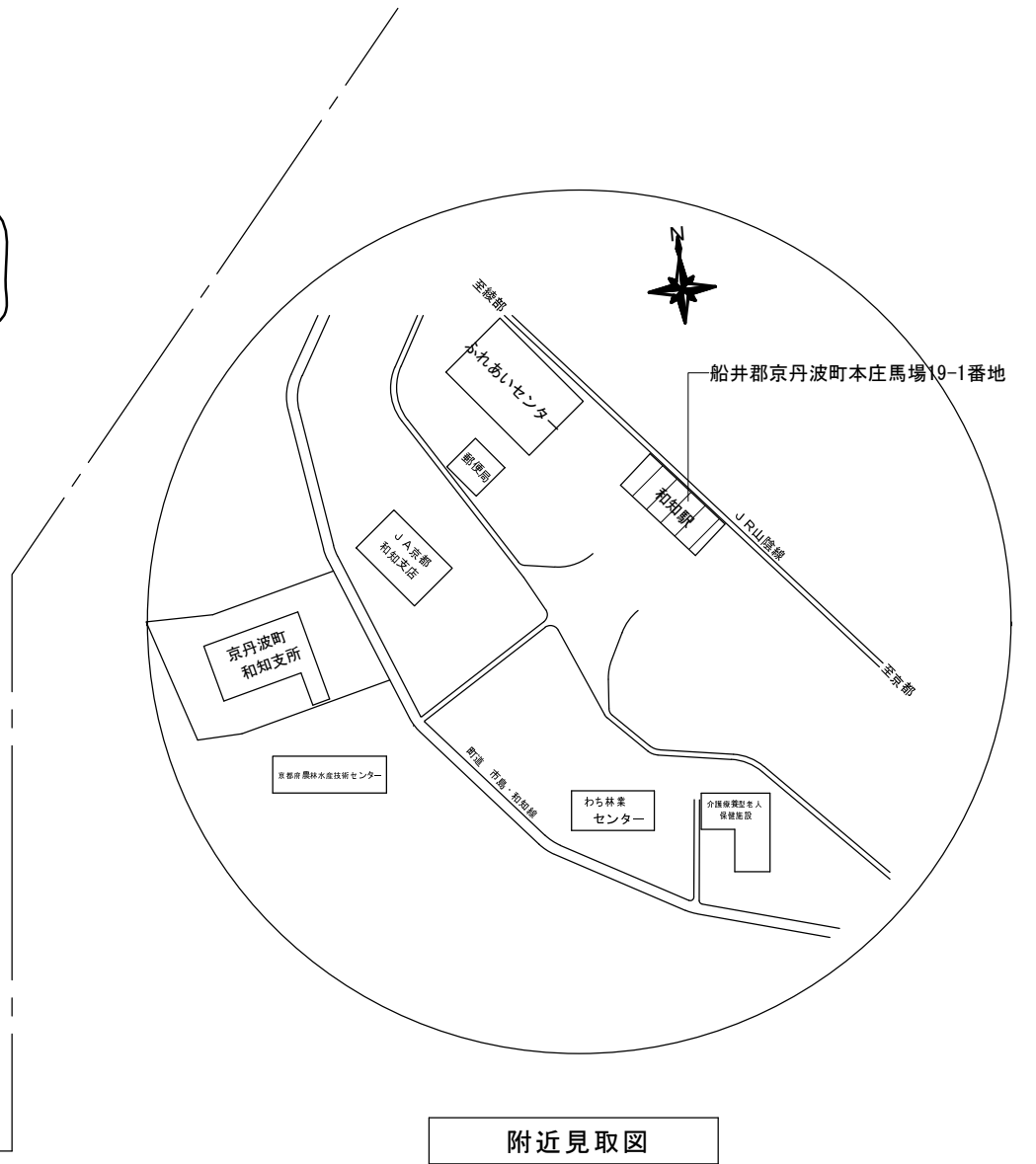
17

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項									
15	左官工事	①モルタル塗り (15.2.2)～(15.2.5)	既製目地材 ○適用する (形状) 床の目地 ○設ける (工法 ※標仕15.2.6(b)(3)による ○)				15	左官工事	5 仕上塗材の下地処理 (15.5.4)	ALCパネルの内壁目地部の形状 ※V型目地付き ○				16	建具工事	10 建具用金物 (16.8.2)～(16.8.4)	マスターキーの製作 ※作成する (グループ、各グループ 個) ○作成しない ○在来マスターキーに合わせる	17 カーテンウォール工事	1 性能 (17.1.3)	※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。									
		②床コンクリート直均し仕上 (15.3.1)							6 ロックウール吹付け (15.8.2)																				
		3 セルフレベリング材塗り(15.4.2)							16 建具工事																				
		④仕上塗材仕上げ (15.5.2)																											
16	左官工事	①モルタル塗り (15.2.2)～(15.2.5)	既製目地材 ○適用する (形状) 床の目地 ○設ける (工法 ※標仕15.2.6(b)(3)による ○)				16	左官工事	5 仕上塗材の下地処理 (15.5.4)	ALCパネルの内壁目地部の形状 ※V型目地付き ○				16	建具工事	10 建具用金物 (16.8.2)～(16.8.4)	マスターキーの製作 ※作成する (グループ、各グループ 個) ○作成しない ○在来マスターキーに合わせる	17 カーテンウォール工事	1 性能 (17.1.3)	※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。									
		②床コンクリート直均し仕上 (15.3.1)							6 ロックウール吹付け (15.8.2)																				
		3 セルフレベリング材塗り(15.4.2)							16 建具工事																				
		④仕上塗材仕上げ (15.5.2)																											
17	左官工事	①モルタル塗り (15.2.2)～(15.2.5)	既製目地材 ○適用する (形状) 床の目地 ○設ける (工法 ※標仕15.2.6(b)(3)による ○)				17	左官工事	5 仕上塗材の下地処理 (15.5.4)	ALCパネルの内壁目地部の形状 ※V型目地付き ○				17	建具工事	10 建具用金物 (16.8.2)～(16.8.4)	マスターキーの製作 ※作成する (グループ、各グループ 個) ○作成しない ○在来マスターキーに合わせる	17 カーテンウォール工事	1 性能 (17.1.3)	※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。									
		②床コンクリート直均し仕上 (15.3.1)							6 ロックウール吹付け (15.8.2)																				
		3 セルフレベリング材塗り(15.4.2)							17 建具工事																				
		④仕上塗材仕上げ (15.5.2)																											
18	左官工事	①モルタル塗り (15.2.2)～(15.2.5)	既製目地材 ○適用する (形状) 床の目地 ○設ける (工法 ※標仕15.2.6(b)(3)による ○)				18																						

[illegible]



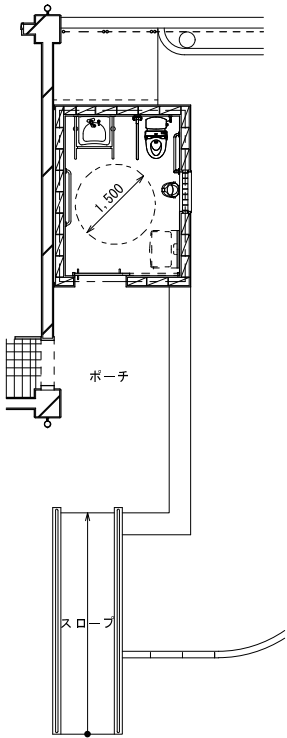
配置図 1/300



附近見取図

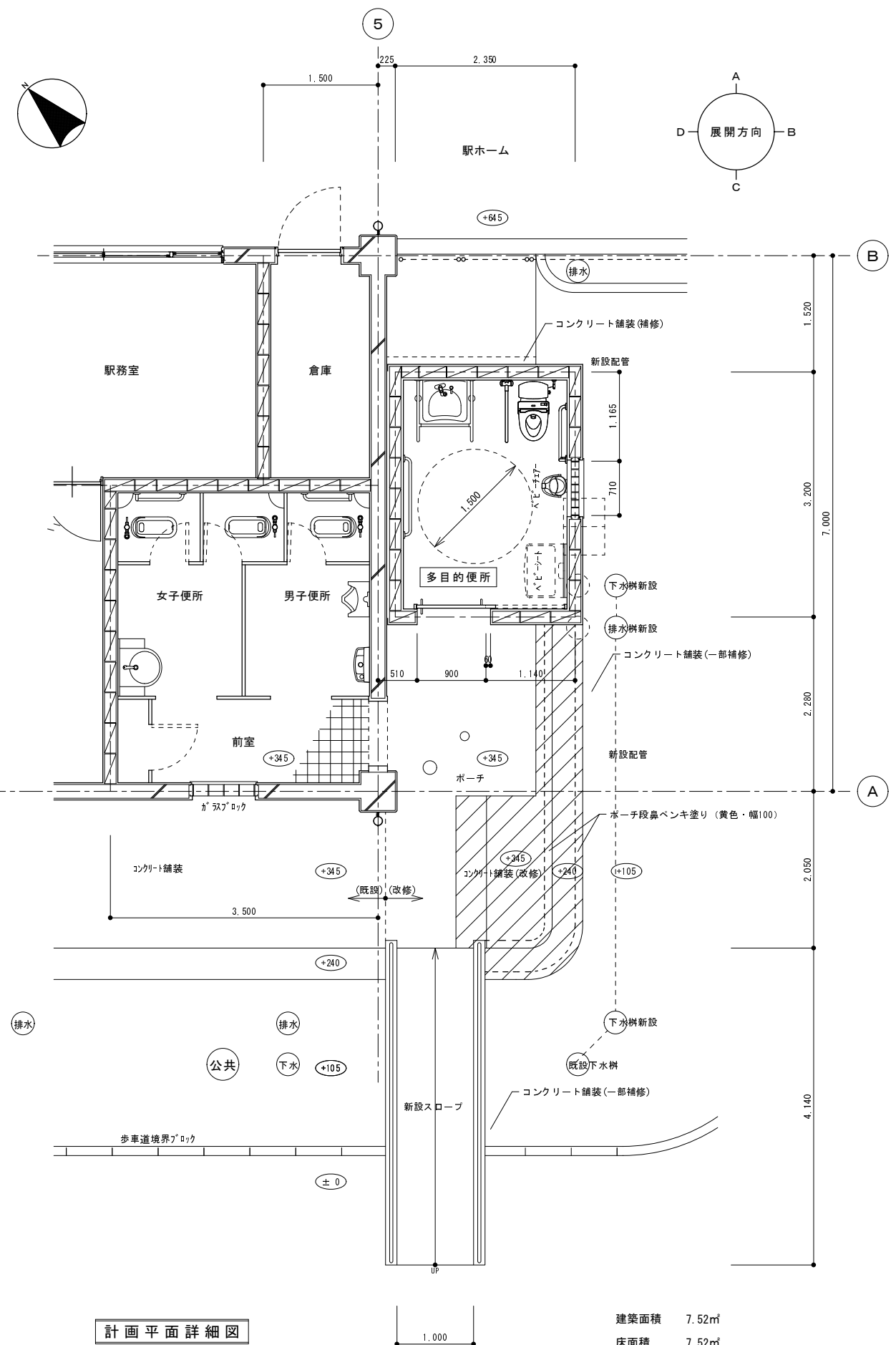
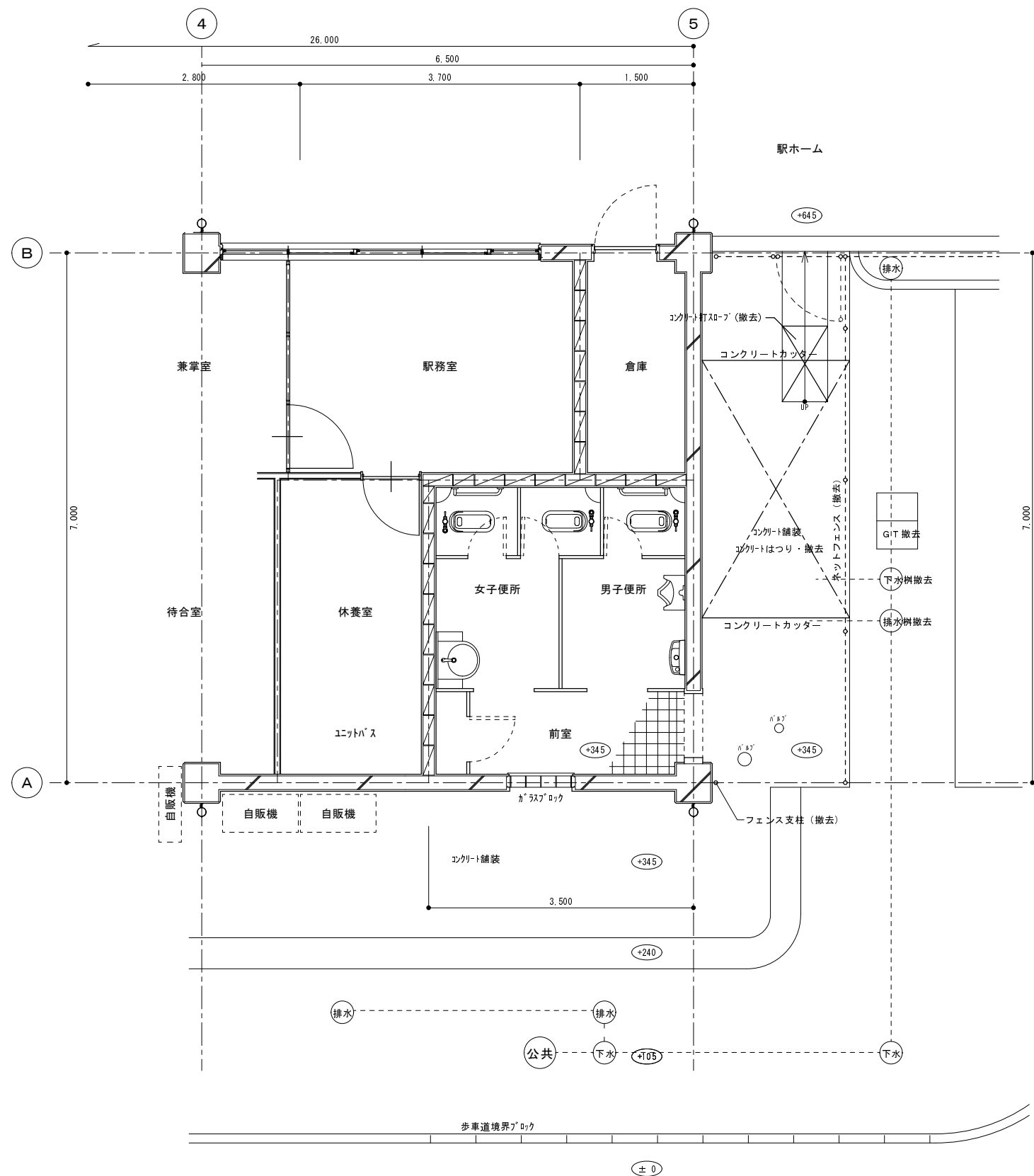
外 部 仕 上 表

屋根	コンクリートスラブの上　モルタル防水
外壁	C B ｔ-150　モルタルコテ押えの上　吹付タイル仕上げ
腰壁	腰壁コンクリートの上モルタル刷毛引き仕上げ
建具	アルミ桒サッシ（シルバー）
室名札	アルミニウムＳＵＳ貼り　254×250×11.5　ヘアーライン仕上げ（みんなのトイレ）
スロープ	コンクリートコテ押え　刷毛引き仕上げ　手摺：ＳＵＳパイプ　34φ加工　ＨＬ仕上げ
ポーチ	コンクリートコテ押え



内 部 仕 上 表

室名	床	巾 木　腰　壁	壁	天　井	天 井 高	備　考
多目的便所	５０角磁器質タイル貼り	１００角磁器質タイル貼り（H＝１，　２００）	モルタルコテ押え　ＥＰ塗	ケイカル板張　t-6　ＥＰ塗	2,200	手摺,ベビーベッド,ベビーチェアー,鏡
材料記号						
S O P　　:合成樹脂調合ペイント　　　　　　　　　　U S　　:ウレタン樹脂ワニス塗り　　　　　　　　　　B G-R　　:石膏ボード　　　　　　　　　　　　　　　D　　　　 :アクリル樹脂焼付塗装 O L　　 :クリアラッカー塗り　　　　　　　　　　 O S　 :油性ステイン塗り　　　　　　　　　　 G B-P　　:吸音用穴あき石膏ボード　　　　　　　 M B　　 :メラミン樹脂化粧板 F E　　 :フタル酸樹脂エナメル　　　　　　　　　　 G B-D（T）:化粧石膏ボード（トラバーチン模様） V E　　 :塩化ビニル樹脂エナメル塗り　　　　　　 G B-D（W）:化粧石膏ボード（木目模様） A E　　 :アクリル樹脂エナメル塗り　　　　　　　　 G B-S　　:シージング石膏ボード ②－U E　 :2液型ポリウレタンエナメル塗り　　　　 G B-F　　:強化石膏ボード ②－F U E:常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り　　 D R　　 :ロックウール化粧吸音板 E P－G　 :つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り F K　　 :無石綿セメントけい酸カルシウム板 E P　　 :合成樹脂エマルションペイント塗り　　 F K-P　 :吸音穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板 M P　　 :多彩模様塗料塗り　　　　　　　　　　 P F　　 :ポリスチレンフォーム保温板 T－E P　 :合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り S P　　 :内装薄塗材E						
共通事項						
※ 区分　C：コンクリート下地及びコンクリートブロック下地等　S：軽量鉄骨下地等 ※ 特記なき場合の床仕上げ下地は、石張り部・タイル張り部・階段踏み面・階段踊り場・フリーアクセスフロアー・O Aフロアー部分を除きコンクリート直均し仕上げ（１－０１－２　t=10）のうえ、仕上げ材とする。 ※ 特記のない幅木の高さは60とする。 ※ 特記のない限り壁ボード張りのボード処理は、壁紙張りの石膏ボードの目地処理は突き付けV目地工法のうえパテ処理とする。塗装仕上げの石膏ボードは、継ぎ目処理工法（テーバー付きボード）とする。壁取り合い(2-24-3,7)の見切縁はアルミ製とする。 ※ 特記のない限り天井ボード張りは、ロックウール吸音板の場合は下地張り（GB-R厚さ12.5）を行う。天井壁紙張りはの石膏ボードは突き付けとする。ケイカル板は目透かし張り（3-01-1）とする。 ※ 天井取り合いは、壁－天井(3-11-3,7又は4,8)見切縁は　R B、GB-D仕上げ箇所のみに取り付け、アルミ製とする。見切縁の無い場合は、3-11-1,2,5,6による。 壁－天井(3-11-9～12)突き付け目地はアルミ製とする。下がり壁（3-12)GB-R厚さ12.5（テーバー付）継目処理工法、見切縁は鋼製とする。 ※ 室名の前に※印がついている室は、揮発性有機化合物の室内濃度測定を行う。						



正田建築事務所

校園

検印

担当

受 註 番 号	
---------	--

工事名称

和知駅多目的トイレ新築工事

图面名称	
------	--

平面詳細図

建築面積 7.52m²

床面積 7.52m²

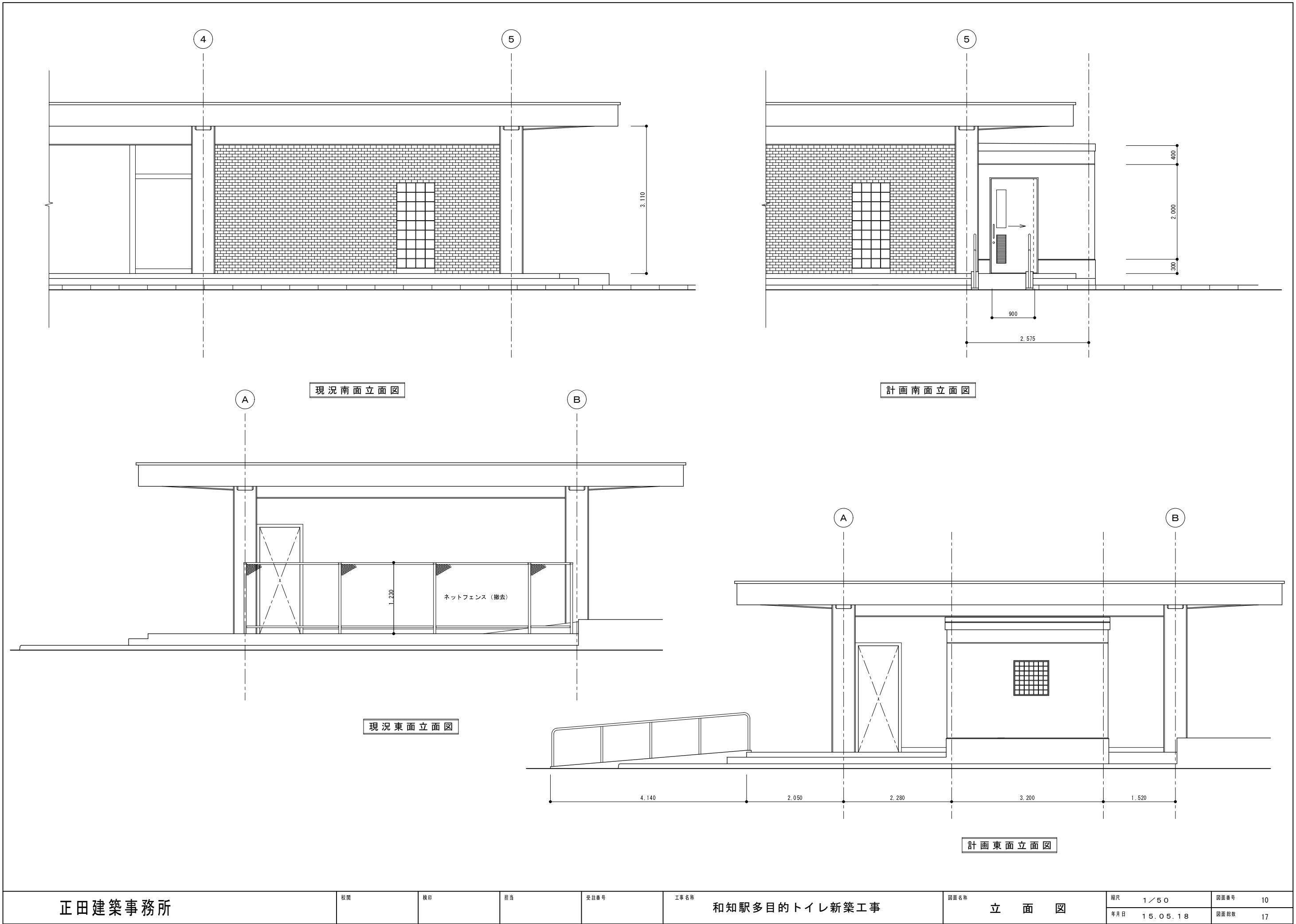

 コンクリート舗装(増打)
 コンクリート金コテ押エ

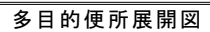
縮尺	1/50
----	------

年月日	15.05.18
-----	----------

図面番号 9

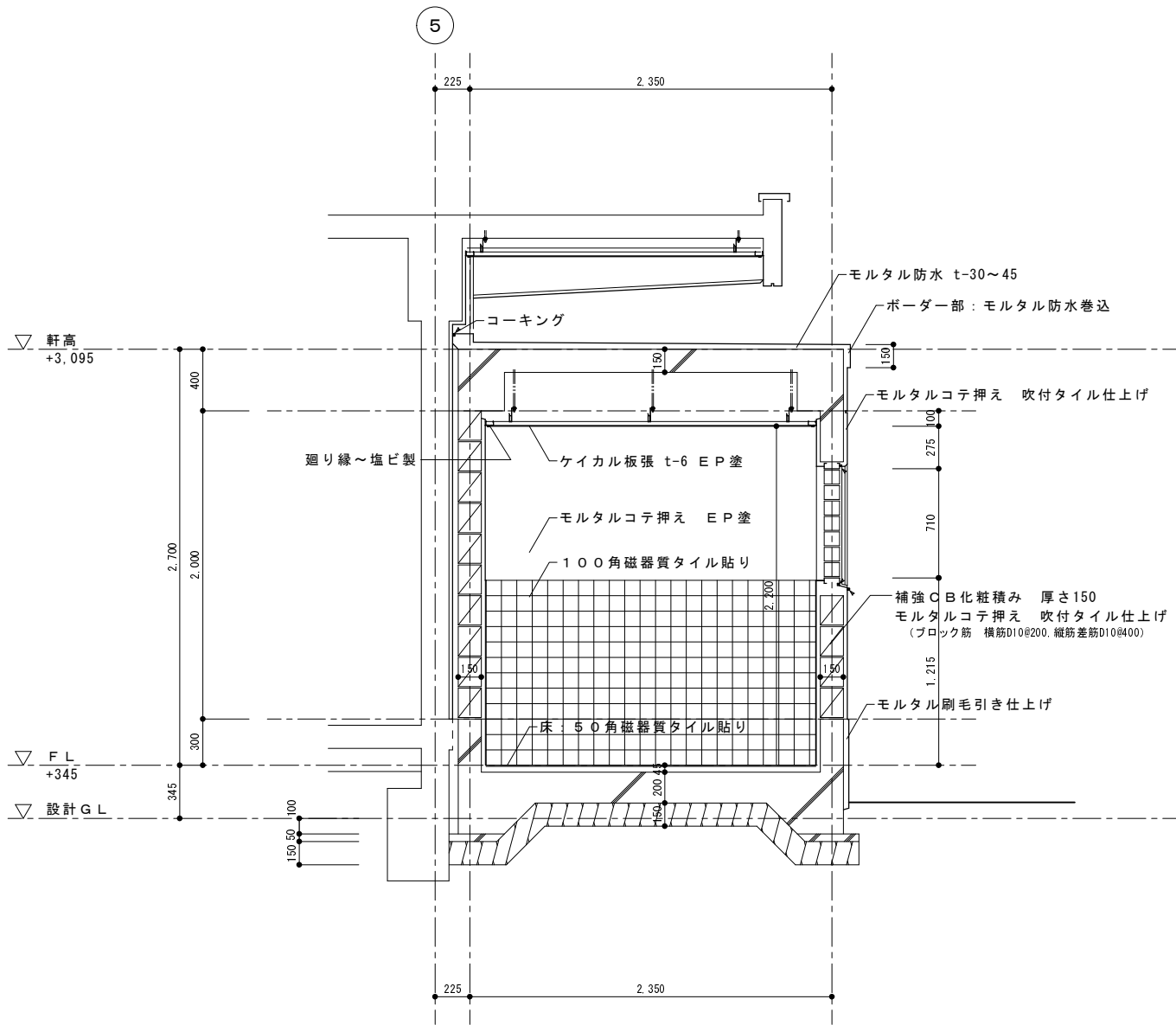
図面総数	17
------	----



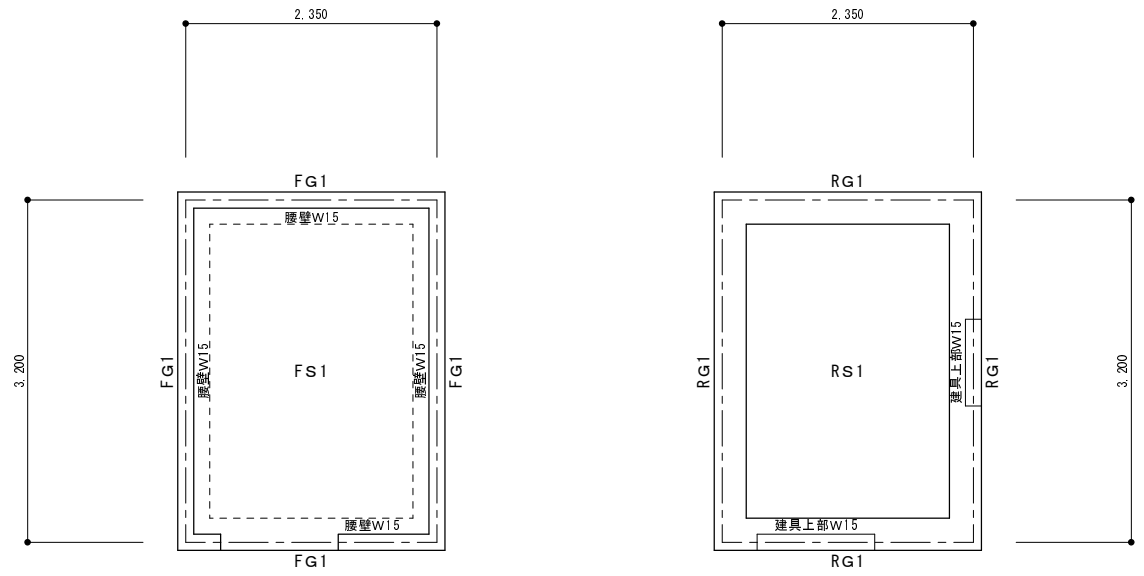


記号・数量	① SD	1ヶ所	① AW	1ヶ所
名称	片引きハンガー戸		ガラスブロック窓	
仕上	塩ビ鋼板		アルミ 自然発色	
建具	枠見込・ガラリ	40	100	
	ガラス ()内ランマ	F ⑦ 4	ガラスブロック 115X115X85(クリアー)窓	
	金物 FH・DC・LH HG・その他	SUS取手(L=400). I型7&3&5°列. かゝ付・D-ラ- 制動装置(ストッパ付). 表示・大型サムターン付引き戸鉸	水切: SUS304 ⑦ 1.5 ヘアーライン仕上	
防火戸の種類				
備考				
性能等級				
形状寸法				



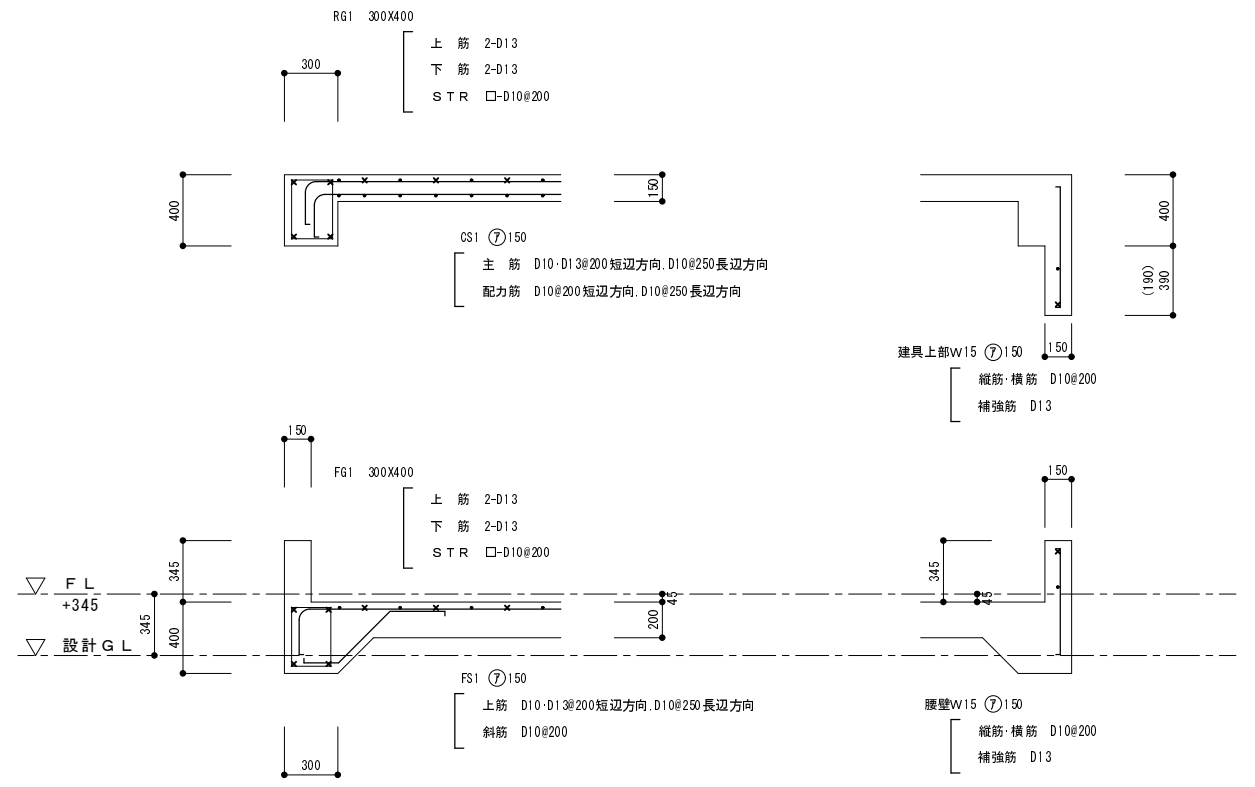


断面詳細図 1 : 3 0



基礎伏図 1/50

梁伏図 1/50



計画平面詳細図

機械設備工事特記仕様書 No. 1

【工事概要】

1 工事場所 京都府船井郡京丹波町本庄地内

2 建物概観

建 物 名	構 造	階数	延床面積 (㎡)	消防法令別表第一	備 考
多目的トイレ	C B 造	平屋建て	7.52㎡		

3 工事科目 ●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	多目的トイレ		
空気調和設備		○	○	○
換気設備		○	○	○
排煙設備		○	○	○
自動制御設備		○	○	○
衛生器具設備		●	○	○
給水設備		●	○	○
排水設備		●	○	○
給湯設備		○	○	○
消火設備		○	○	○
ガス設備		○	○	○
厨房機器設備		○	○	○
浄化槽設備		○	○	○
医療ガス設備		○	○	○
		○	○	○
撤去工事		●	○	○
			○	○

【特記事項】

1 一般事項

1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成二十五年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）平成二十五年版」（以下「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成二十五年版」による。

2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

2 特記事

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

	項 目	特 記 事 項
一	●設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとす る。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。 また、〔グ〕印は「京都府庁グリーン調達方針*」（以下、「グリーン調達」という。） の特定調達品目を示す。 ◆京都府ホームページ参照 <http://www.pref.kyoto.jp/zaisan/kankyo.html>
	●機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官庁営繕部建築課営繕技術管理室監 修の機械設備工事機材承諾図様式集（最新版）によるものとする。
	●機材の品質 ・性能証明	使用する機材が、（財）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設 備機材等評価目薄（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1 第4節1. 4. 2（c）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略すること ができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	○グリーン調達適合品 の確認	グリーン調達適合品の証明を監督職員に提出する。 ○ ○ ○
	●現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監 理技術者と同様、受注者との直接かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	○電気保安技術者	※適用する ○適用しない
	○技能士（一級）	※配管（配管工事）
	○建築板金（ダクト製作及び取付け）	○冷凍空調調和機器施工
	●工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡しまですべて受注者の負担とする。
	般	●官公署への手続き
○工事用仮設物		構内につくることが ※できる ○できない
○足場・さん橋類		別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。
○監督職員事務所		※設置しない ○設置する（○本工事 ○別添）
○監督職員事務所 に備え付ける図書		下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） ・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） ・機械設備工事監理指針 ・機械設備工事施工チェックシート ・建築設備附設設計施工指針 ・工事費算の振り方（最新版）-建築設備編- ・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
●建設副産物の処理 及び建設発生土の処理		○建設副産物の処理 右記のほか、 現場説明書による。 ○引き渡しを要するもの { } ○再生資源利用を図るもの { } ○特別管理産業廃棄物 ○PCB使用機器 ○SF6ガス使用機器 ○ ○構外指定地に搬出処理 ※（財）城陽山誠砂利採取地整備公社 ○構内指示場所に敷き均し ○構外搬出適処処理
事	●建設発生土の処理 右記のほか、 現場説明書による。	○構外指定地に搬出処理 ※（財）城陽山誠砂利採取地整備公社 ○構内指示場所に敷き均し ○構外搬出適処処理
	再生資源利用促進 計画書等の作成・提出	促進計画書（建設副産物対策近畿地方連絡協議会）について、施 工計画書に含めて提出する。 また、実績については再生資源利用促進施策として提出する。
		1）「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。 2）関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物 処理報告書」により監督職員に報告する。
		○アスベスト成形板の処理等 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項 について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲 ※成形板の製造年等の確認 ○X線解析法
項		処理方法 ※非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ 処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

項目

●工事関係書類

○履行報告

●工事写真

●完成図書

●著作権等

●付属品及び予備品

○耐震施工

○一般用弁

○フレキシブルジョイント

○伸縮管継手

○溶接接合

○地中埋設管及び埋設表示用テープ

○防食処理

○保温

○塗装

○エポキシ樹脂コーティング及びライニング

○ボックス

○容量等の表示

●はつり

○防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー

○消音内貼

○ドレン抜き

特記事項

管繕工事契約関係書類提出書類式集*一覧表により提出。
◆京都府*ハ-グ参照 <http://www.pref.kyoto.jp/eizen/index.html>
月報 ※2部 ○3部 毎月末にぴめ、翌月の5日までに提出する。

1) 国土交通省大臣官庁官庁管繕部監修「工事写真の撮り方（最新版）建築設備編」による。
2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。
3) デジタルカメラで撮影可とする。

名称 内容 大きさ 部数
○完成図 金文字製本 A4版 1部
○完成図 ○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め 2部
○施工図 ○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め 2部
○機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部
保守指導案内書(機器取説書を含む)
機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書
○諸官庁提出書類 副本 1式
●原図 完成図・施工図 1部
●完成写真 アルバム綴り 2部
電子納品については、現場説明書による。

当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

標準仕様書によるほか、別表1による。
○風量調整(測定共) ○水量調整(測定共) ○室内外空気の温湿度測定
○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定
○飲料水の品質の測定

1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」による。
2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。

設置場所	○特定の施設		○一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)
中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)

設置場所	○特定の施設	○一般の施設
	水槽	水槽
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5
中間階	1.5	1.0
1階及び地下階	1.5	1.0

注1 ()内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。
注2 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。
注3 上層階の定義は、6階建以下の場合には最上階、7～9階建の場合には上階2階。
注4 重要機器(水槽)は、下記に示すものとする。(水槽にはオイルタンク等を含む。)

【

標準仕様書第2編2、2.1(1)～(12)によるほか、下記による。
1) 水漏止結部及び図面特記部の耐圧は10K以上、その他は5K以上とする。
2) 給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。

機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、銅板に対してはヘローズ形、FRPに対しては合成ゴム製とする。

銅管用伸縮管継手は下記による。
※ヘローズ形 ○スリーブ形

溶接部の非破壊検査は、
※適用しない
○適用する(○放射線透過検査 ○浸透深傷検査又は磁粉深傷検査)

1) 給水管 地中埋設管(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要)
2) 消火管 地中埋設管(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要)
3) ガス管 地中埋設管(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要)
4) 油管 地中埋設管(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要)
5) プライン管 地中埋設管(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要)
用途表示のあるテープ(幅は150mm以上)で、2倍長以上重ね合わせて使用する。

土中埋設の排水用塩ビライニング銅管は、防食処置を行う。

1) 保温材の使用は、下記による。

給水管・排水管	※ポリスチレンフォーム保温材	○
排煙ダクト・煙道、排気筒	※ロックウール保温材	○
その他	※グラスウール保温材	○

2) 膨張管及び膨張水槽からの補給水管の保温は、冷水管に準ずる。
3) 銅板製タンクの保温 ※必要 ○不要
4) 保温を施す膨張水槽等の蓋の保温 ※必要 ○不要
5) エア坂管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲はエア坂弁までとする。
6) 露出配管の保温外装種別は、下記による。
・屋内 ※合成樹脂カバー1 ○合成樹脂製カバー2 ○
・屋外 ※ステンレス銅板 ○
7) 弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。
・屋内 ※カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス銅板 ○
・屋外 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス銅板 ○
8) 車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。
9) 合成樹脂製支持受 ※硬質ウレタンフォームに準ずるもの
○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの

機械室・電気室内の塗装は、※行う ○行わない

エポキシ樹脂コーティング及びライニングの乾燥方法は下記による。
※加熱乾燥 ○常温乾燥

P.F管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。

機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出カ、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。

1) 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。
2) 復旧はモルタル補修までとする。

復帰方式は ※遠方復帰式(電気式(定格入力 DC24V 0.6A以下))
○手動復帰式

ダクト及びチャンパー、消音エルボの内貼り(箇所図示)は下記による。
・消音内貼り部分の外部保温は ※不要 ○必要
・チャンパーの寸法は、外形寸法を示す。
(ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。)
・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。

外壁に面するガリに直接取付けるチャンパー類に必要に応じ設ける。

章	項 目	特 記 事 項	
共通事項	○取付枠	防火区画部に取付ける出口口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。	
	○機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿等 (※溶融亜鉛メッキ ○ SUS) ・その他 (※一般品 ○) ○機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。	
	○防火区画	○平面階 ○図示 ○	
	○掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。	
	○天井仕上区分	() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。	
	○給油設備	地下オイルタンク ○設ける ○設けない 遠隔油量指示計 ○設ける ○設けない 副指示計 ○設ける ○設けない オイルサービスタンク 油面計 ※ゲージ式 ○ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 ○給油ポンプの起動、停止制御用 ○返油ポンプの起動、停止制御用 ○漏油警報 ○漏漏警報(○減油 ○漏減油)	
		油管(露出、トラフ内) ※配管用炭素鋼管(黒) ○ 油管(地中) ※ポリエチレン被覆鋼管 ○	
	○建物専入部配管 (排気及び通気を除く)	○標準図 施工4(a) (フルキッ トジョイントを使用) ○標準図 施工5(b) (ｽｰﾙﾄﾞ ｳｵｲﾝﾄを使用) ○標準図 施工5(c) (スリクッションを使用)	
	○鋼材	屋外部分 ○溶融亜鉛めっき(※2種35 ○2種50) ○ステンレス鋼製(SUS304)	
	○インバーター用 制御及び操作盤	構成 ○進相コンデンサー 表示等 ○運転時間計 ○運転(赤色)及び停止(緑色)表示 ○保護継電器の動作表示 接点及び端子 ○遠方発停用端子 ○運転時間表示用端子 ○温水出入口温度用端子 ○冷水出入口温度用端子 ○消費電力表示用端子(小型貫流ボイラーに適用) ○給水量表示用端子(小型貫流ボイラーに適用) ○燃料消費量表示用端子(小型貫流ボイラーに適用)	
	空気	○主方式	○全空気方式(○中央 ○各階ユニット) ○ファンコイル・ダクト併用方式 ○個別方式 ○
		○主要熱源機器	○ボイラー ○温水発生機 ○コージェネレーション装置 ○永暑熱ユニット ○冷凍機() ○
		○設計時の温湿度条件	場 所 屋 外 屋内(調査目標値) 時 期 湿度(℃) 湿度(RH) 湿度(℃) 湿度(RH) 湿度(℃) 湿度(RH) 冬 期 ℃ % ℃ % ℃ % 夏 期 ℃ % ℃ % ℃ %
		○長方形ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法(○同板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)
調和設備	○ダクトの分岐方法	○割込み工法 ○直付け工法	
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	冷温水管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ 冷却水管 ※配管用炭素鋼管(白) ○塩化ビニル鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) ○ 空調用排水管 ※配管用炭素鋼管(白)(○ねじ接合 OMDジョイントによる接合) ○水配管用亜鉛めっき鋼管 ○ 蒸気配管 給気管 ※配管用炭素鋼管(黒) ○ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼管(黒) ○ 補給水管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ 膨張管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ エア抜き管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ 冷媒管 ○銅管 ○断熱材被覆鋼管(ガス管:ハイグレード仕様) ○パッケージ形空調器と機の2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。	
	○温度計	※工業用ハイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計 ○ガラス製二重管温度計	
	○定流量ユニット 変流量ユニット	○メカニカルタイプ ○風速センサータイプ (○フロベラ形センサー ○熱線センサー)	
	○ファンコイルユニット カセット形ファンコイルユニット	風量分配ダクトは ○亜鉛鉄板製 ○自己消火性のポリスチレンフォームなど	
	○バーナー制御方式	○オン・オフ制御 ○ハイ・ロー制御 ○比例制御	
	○電動機盤	○進相コンデンサー (○要 ※不要)	
	○排熱投入形再生器	直込吸気或冷温水機に(○要する。 ※不要である。)	
	○高温再生器の構造	※図面による。	
	○コージェネレーション装置	発電方式 ○原動機、発電機 ○燃料電池 熱回収装置 ○温水熱交換機 ○排ガスボイラー ○排ガス熱交換機 ○熱回収用ポンプ ○その他 その他装置等 ○補機付風制御装置 ○冷却塔(放熱用) ○	
集中リモコン	表示機能	○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算	
	データ管理機能	○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算	

正田建築事務所		校 長	校 印	担 当	工 事 名 称	和知駅多目的トイレ新築工事	図 面 名 称	設 備 特 記 仕 様 書 (1)	図 尺	図面番号	13	
									年 月 日	1 5 . 0 5 . 1 8	図 面 総 数	17

機械設備工事特記仕様書 No.2

章	項 目	特 記 事 項																		
換 気 設 備	○銅板製煙道	厚さ ※3. 2mm ○4. 5mm																		
	○ばい煙濃度計	○ばい煙濃度計の取付座 ○ばいじん量測定口 ○伸縮継手 ○掃除口 ※ファン付 ○ファンなし (電源はボイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)																		
	○瞬間流量計	○固定形 個 ○差脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)																		
	○保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠べい部 ※不要 ○必要 露 出 部 ※保温化粧ケース(塩化ビニル樹脂製) ○ ・屋外 ○ステンレス銅板 ○保温化粧ケース (○樹脂製 ○アルミ合金製 ○ステンレス銅板製 ○溶融亜鉛メッキ銅板製) ・保温化粧ケースの下部カバー ○必要 ○不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1／2重ね1回巻きとする。																		
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法(○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) ○スパイラルダクト																		
	○ダクトの分岐方法	給気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式																		
	○厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。 <table><tr><th colspan="2">ダ ク ト の 長 辺</th><th>板 厚</th></tr><tr><td colspan="2">450mm以下</td><td>0. 6mm</td></tr><tr><td colspan="2">450mmを超え1200mm以下</td><td>0. 8mm</td></tr><tr><td colspan="2">1200mmを超え1800mm以下</td><td>1. 0mm</td></tr><tr><td colspan="2">1800mmを超えるもの</td><td>1. 2mm</td></tr></table>				ダ ク ト の 長 辺		板 厚	450mm以下		0. 6mm	450mmを超え1200mm以下		0. 8mm	1200mmを超え1800mm以下		1. 0mm	1800mmを超えるもの		1. 2mm
	ダ ク ト の 長 辺		板 厚																	
	450mm以下		0. 6mm																	
	450mmを超え1200mm以下		0. 8mm																	
1200mmを超え1800mm以下		1. 0mm																		
1800mmを超えるもの		1. 2mm																		
○排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ※ステンレス銅板(補強共) ○亜鉛鉄板 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ※本工事 ○別途工事 3) グリスフィルターの予備 ※不要 ○必要																			
○保 温	・多湿箇所のダクトの保温 ※不要 ○必要 ・厨房用外気取り入れダクトの保温 ※不要 ○必要 ・外気取り入れチャンバーの保温 ※不要 ○必要 ・全熱交換器の外気取り入れダクトの保温 ○不要 ※必要																			
排 煙 設 備	○排煙対象部分	○廊下 ○事務室 ○図示 ○最大面積 m ²																		
	○ダクトの種別	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト																		
	○ダクトの工法	※アングルフランジ工法																		
	○ダクトの材料	※亜鉛鉄板製 ○普通銅板製																		
自 動 制 御	○排煙口	1) 形 状 ○スリットフェース形 ○パネル形 ○ダンパー形 2) 排煙口の開放 ○手動 (○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 3) 復帰装置 ○手元復帰式(○手動式 ○電気式) ○遠方復帰式																		
	○保温	床下及び階床内の保温 ※不要 ○必要(図示)																		
		※図面による。																		
衛 生 器 具 設 備	○小便器用節水装置	電気供給方式	※AC電源 ○乾電池 ○水流発電充電電池																	
	○自動水栓	電気供給方式 手動スイッチ	※AC電源 ○乾電池 ○水流発電充電電池 ○ 無し ※ 有り																	
	○大便器用洗浄弁	操作方式	○手動式 (○ハンドル式 ○レバー式) ○電気開閉式 (○センサース式 ○タッチスイッチ式)																	
	○水石けん入れ	○衛生陶器取付形	○壁取付形 ○カウンター取付形																	
	○身障者用器具	1) 大便器洗浄弁は ※非接触式センサーFV ○くつべら式押ボタン 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。																		
給 水 設 備	○大便器耐火力カバー	※設ける(ビット内は除く) ○設けない																		
	●衛生器具メーカー	●TOTO同等品 ○その他																		
	●給水方式	●公共水道直結 ○受水タンク及び高置タンク ○受水タンク及び加圧ポンプ ○直結ブースターポンプ																		
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管	○ステンレス銅管(SUS304) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ●ビニル管(H1VP) ○ポリ粉体ライニング銅管(SGP-PA、SGP-FPA) ○塩ビライニング銅管(SGP-VA、SGP-FVA) ○ 地中配管〔屋内〕 ○ステンレス銅管(SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管(50φ以下)(※2種 ○1種) ●ビニル管(H1VP) ○ポリ粉体ライニング銅管(SGP-PD、SGP-FPD) ○塩ビライニング銅管(SGP-VD、SGP-FVD) ○ 地中配管〔屋外〕 ○ステンレス銅管(SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管(50φ以下)(※2種 ○1種) ●ビニル管(H1VP) ○ポリ粉体ライニング銅管(SGP-PD、SGP-FPD) ○塩ビライニング銅管(SGP-VD、SGP-FVD) ○																	
	○緊急遮断弁装置	○要 ○不要 駆動方式	○電気式 ○機械式																	
	○量水器	○直読式 ○バルス式																		

章	項 目	特 記 事 項
給 水 設 備	○水栓柱	※合成樹脂製 (70X70×1300H) ○ステンレス製 () ○人造石とぎ出し製 () ○アルミニウム合金製() 特記なき場合、水栓取付高さには600とする。
	●管の埋設深さ	1) 一般敷地 ※300mm ○ 2) 構内車両通路 ※600mm ○ 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
	○加入金・負担金	○不要 ○必要(※別途 ○本工事)
	○本管引込工事	※本工事 ○別途工事
排 水 設 備	●排水方式	汚水・雑排水〔屋内〕 ※分流式 ●合流式 汚水・雑排水〔屋外〕 ○分流式 ※合流式 ポンプ排水 ○有り(○雑排水 ○汚水 ○浄化槽2次側) ○なし
	●放流式	汚水 ●直放流水管 ○し尿浄化槽 ○ 雑排水 ●直放流水管 ○し尿浄化槽 ○別途樹・側溝
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内雑排水管 ○排水用塩ビライニング銅管 ○銅管(SGPW)(○ねじ接合 ○MDジョイントによる接合) ○ビニル管(VP) ●ビニル管(VU) ○耐火二層管 ●ビニル管(VU)
		屋内汚水排水管 ○メカニカル形排水用鉄鉄管(※1種管 ○2種管) ○排水用塩ビライニング銅管 ○ビニル管(VP) ○RF-VP ○耐火二層管 ●ビニル管(VU)
		通気管 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) ○銅管(SGPW)(○ねじ接合 ○MDジョイントによる接合) ○ビニル管(VP) ○排水用塩ビライニング銅管 ○耐火二層管 ●ビニル管(VU)
		地中配管〔屋内〕 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(REP-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) ○ビニル管(VP) ●ビニル管(VU) ○
		地中配管〔屋外〕 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(REP-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU) ○ビニル管(VP) ●ビニル管(VU) ○
		銅管類のポンプアップ排水用の配管は、塩ビライニング銅管(SGP-VA、SGP-FVA)(地中配管はSGP-VD、SGP-FVD)とし、継手はフランジ又はハウジング形継手とする。
	○漏水試験継手	※必要(図示箇所に取付ける) ○不要
	○煙試験(排水・通気)	※不要 ○必要
給 湯 設 備	○負担金	※不要 ○必要(○別途 ○本工事)
	○本管接続工事	※本工事 ○別途工事
	○給湯方式	○中央式 ○局部式
	○配管材料	※銅管(壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆銅管を使用してもよい。) ○ステンレス銅管 ○耐熱性塩ビライニング銅管 ○保温付き被覆銅管
	○保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3. 1. 5の表2. 3. 6及び表2. 3. 7の〔h. (イ). X〕による。
	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火() ○連給送水管 ○
	○表示灯	○屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ※配管用炭素銅管(白) ○圧力配管用炭素銅管(白) ○
		屋内外地中配管 ※外面被覆銅管(SGP-XS)
	○保温	消火用充水タンクの保温を ※施工する(膨張タンクによる) ○施工しない 消火用呼水タンクの保温を ※施工しない ○施工する(膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を ※施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) 屋内露出管の保温を ※施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる) トレンチ内の保温を ※施工しない ○施工する(給水管の保温仕様に準ずる)
ガ ス 設 備	○ガスの種類	○都市ガス (発熱量 ※46, 000kJ/N m ³ ○ KJ/N m ³) ○液化石油ガス (※50kg 本立 ○20kg 本立)
	○ガスメーター	親メーター ※貸与品 ○購入 子メーター ※購入 ○貸与品 計量方式 (○直読式 ※バルス式)
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ※配管用炭素銅管(白) ○ 屋内外地中配管 ○ポリエチレン被覆銅管 ○ガス用ポリエチレン管 ○ 都市ガスの場合は、供給者仕様による。
	○地中埋設管の接合法	○SGM工法 ○ネジ工法 ○PE管工法
	○ビット内施工法	※溶接工法
	○負担金	※不要 ○必要(○別途 ○本工事)
	○本管接続工事	※本工事 ○別途工事
	○掘削工法	○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
	○孔口保護管	深度 () m
	○ケーシング材質	※配管用炭素銅管(黒管) ○配管用ステンレス銅鋼管

章	項 目	特 記 事 項
井 設 備	○掘削工法	○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式 ○回転振動式 ○ロータリーパーカッション式
設 備		安全装置の適用は図面による。
浄 化 槽 設 備	○形式	○ユニット形 ○現場施工形
	○処理方法	○小規模合併処理(別紙参照) ○合併処理(別紙参照)
設 備		※図面による。

別表 1 付属品・予備品

○工具箱(ドライバー、モンキーレンチ、組スバナー、ハンマー)	○マンホールフック	○パイプレンチ	○ポンプブライヤー	○ポンテン(大、小)
○イージーキャビネット	箱	○キーボックス		
○ウォールキャビネット(W=)	D=)	H=)	×	個
○盤類予備品(ランプ及びヒューズの100%)				

正田建築事務所

校閲

校印

担当

工事名称

和知駅多目的トイレ新築工事

図面名称

設備特記仕様書(2)

縮尺

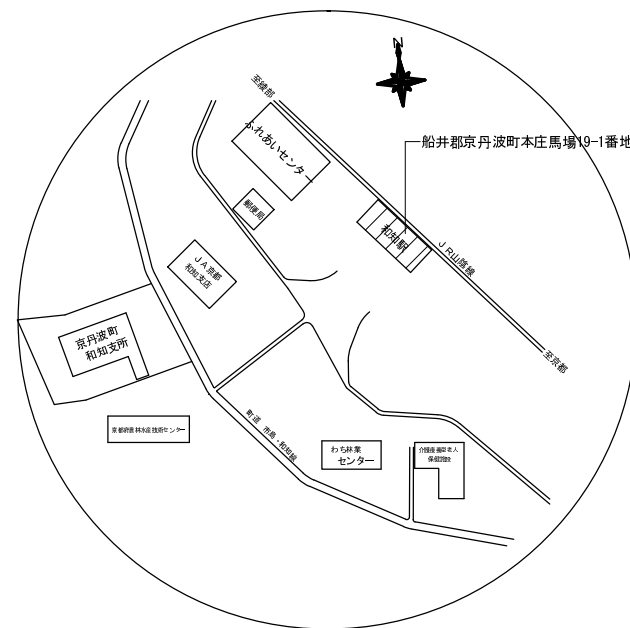
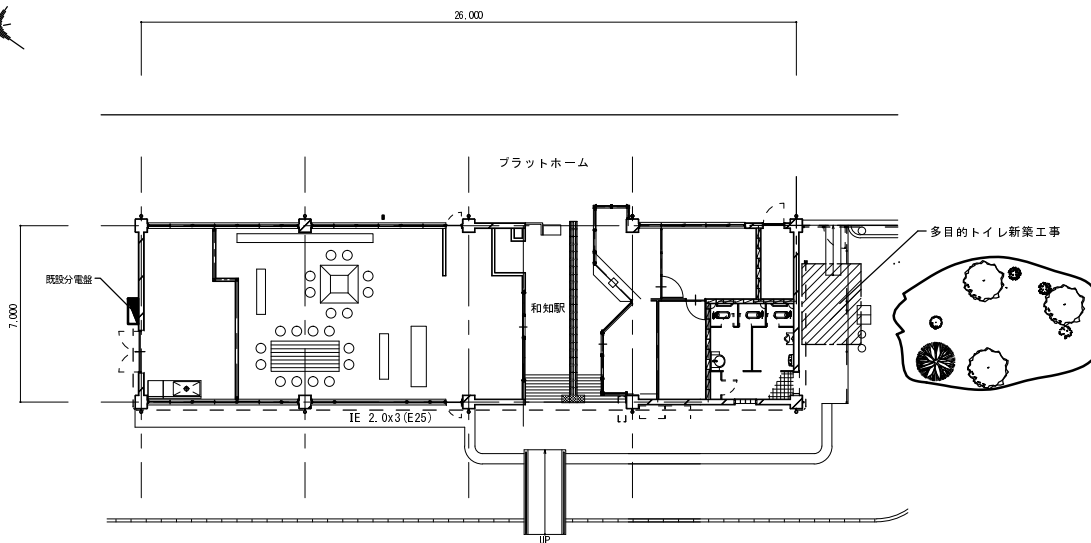
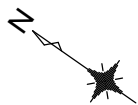
年月日 15.05.18

図面番号

14

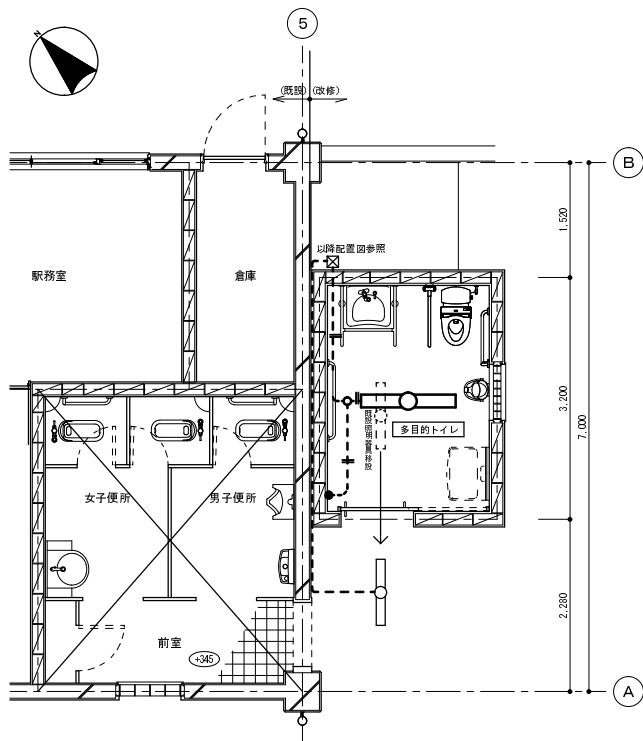
図面枚数

17

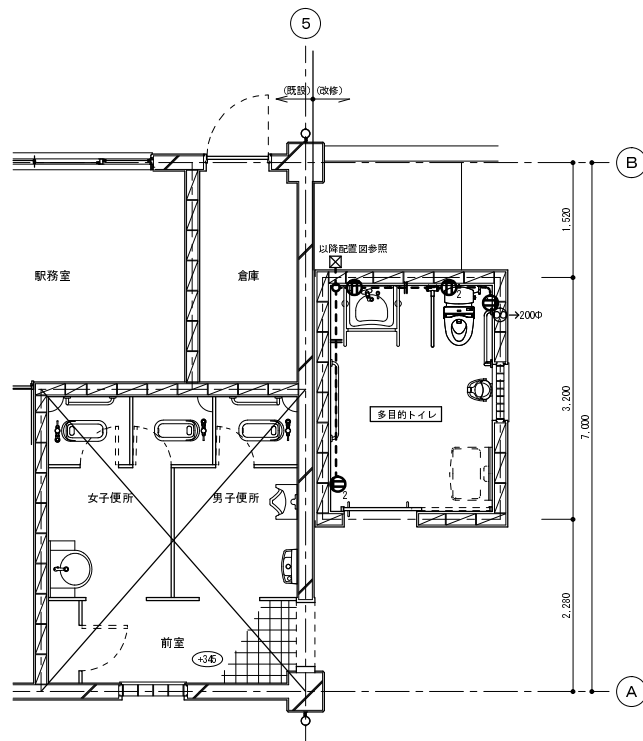


附近見取図

配置図 1/300

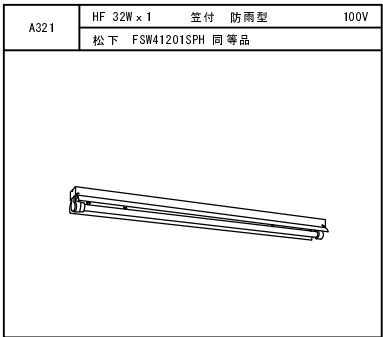


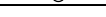
電灯設備図

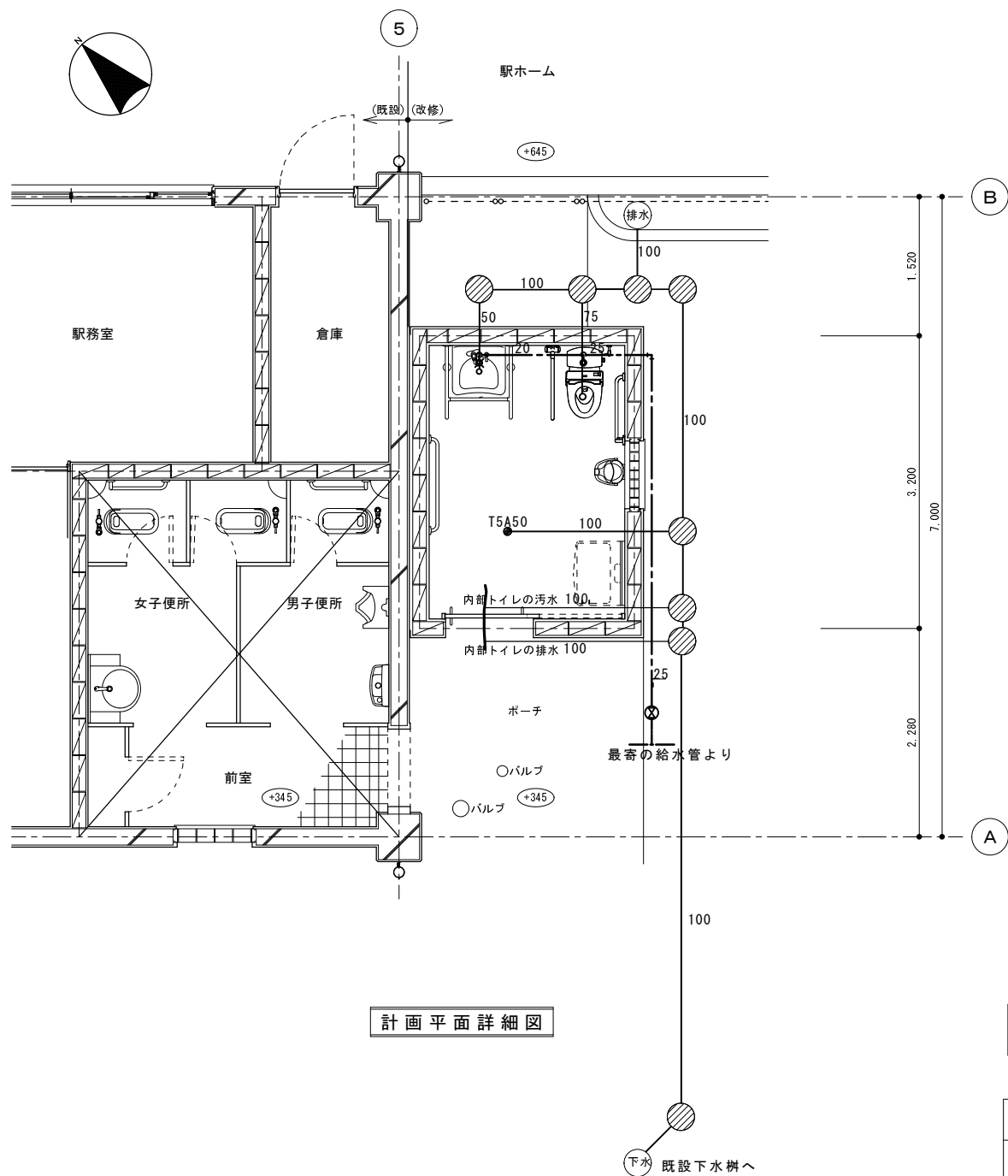


コンセント設備図

照明器具姿図



注記1 記載なき機器凡例は下記による。		注記2 記載なき配管配線は下記による。	
	分電盤 (20A×4)		電灯設備
	照明器具 笠付 姿図参考		IE 2.0x2 (E16)
	既設照明器具移設 (天井直付け) 既設配管・配線は撤去する 新設トイレより配管・配線をする		
	埋込コンセント 2P15A×2 P付		
	埋込スイッチ 1P15A×1 P付 露出スイッチ取付		一次側電気配線・配管
	アウトレットボックス		IE 2.0x3 (E25)
	換気扇 200φ 丸型アルミフード付		



排水リスト			
	汚水樹	150φ	レジコン蓋共 深さは現場確認
	硬質塩化ビニル管 (V U)		
	硬質塩化ビニル管 (V P)		
	排水目皿	T5A50	

衛生器具表

器具名	品番	附属品	台数
身 障 者 用 大 便 器	C S 2 0 A B	SH30BA. TCF4721V81. TCA88. HE10. HM10. YH702. T112HK7. T112CL9	1
身 障 者 用 手 洗 器	L 1 0 3 A	TEN50A. T7PW9. TL220D. HH04060. T112CP3×2. YM3560AE	1
ベビーシート	Y K A 2 5		1
ベビーチェア	Y K A 1 5		1
多用途用手摺	T 1 1 2 C 6		1